テーマ名：お相撲さんみたいに強くなろう！

園名：すみだ川のほとりに笑顔咲く保育園

背景

・木瀬部屋との交流を2歳児の頃から行っており、「おすもうさんにだっこしてほしい」等の声も聞かれ、力士を身近に感じている子が多くいた。年長になり初めての交流時には、積極的に力士に質問をし、強さの秘訣や食べ物を聞き、自分たちも強くなりたいという気持ちを抱いている。また、中和こころ保育園と交流した際に負けた経験をしたことで、より一層強くなりたい気持ちを持ち、ちゃんこ鍋への興味を持ったり、進んで稽古をしたりする姿が見られていた。

2024年度実施内容のまとめ

実施

中和こころ保育園と相撲を取って惨敗し、木瀬部屋に訪問して強さの秘訣を聞いた。

実施

力士がちゃんこ鍋を食べていることを知り、ちゃんこ鍋に興味を持つ。食材の買い出しや調理を行い、味も子どもたちで考えて作った。

実施

ちゃんこ鍋を食べたから強くなったと信じていた子どもたち。”もっと強くなるためには ”と考え、運動遊びや手足を使った遊びに取り組んだ。

子どもたちの興味

① どうやったら強くなれるんだろう？どうしてお相撲さんは大きいの？

③ たくさん食べるといいんだって。ちゃんこ鍋って何？

⑤ ちゃんこ鍋を食べたから強くなったかな？他にも強くなる方法はないかな？

環境づくり

② 力士に質問して直接聞ける場を設ける。（木瀬部屋訪問）

④ ちゃんこ鍋について身近な人に聞く。八百屋に野菜を見に行く。

⑥ 筋トレ、運動遊び、相撲稽古

2024年度振返り

・秋ごろから、「すもうたいかいにかちたい」ということを目標にして取り組んできた。実際に相撲を観戦したり、木瀬部屋と交流したりする中で、力士に興味を持ち、「どうして～なんだろう？」と疑問を持つ姿も多く見られていた。実際に相撲を取る中で、なかなか勝てずに悔しい気持ちも味わい、強くなるためにはどうしたら良いか考えるきっかけとなった。

次年度に向けて

・春ごろから木瀬部屋との交流を密に取り、子どもたちの発見やつぶやきを広げていけるように環境を整えていくと、より良い取り組みになるのではないかと感じた。

テーマ名：お相撲さんみたいに強くなろう！

園名：すみだがわのほとりに笑顔咲く保育園

子どもたちの興味

①力士への興味関心
・散歩を通して両国駅で発見した力士の手の大きさや身体の大きさに驚く。
・日常の散歩を通して園の近くに木瀬部屋があることを話す。

環境づくり

②近所にある木瀬部屋へ見学する機会を設ける
・力士に「野菜もお肉もたくさん食べると強くなる」と答えてもらったことで、食への興味を広げている。ちゃんこ鍋について知り興味を持っていた為、野菜の図鑑を見てどんな具材が入っているかを調べた。
・「ちゃんこなべをつくって、おすもうさんにほうこくしたい！」という子どものつぶやきちゃんこ鍋作りに繋がっている。

担当者の気づきポイント

・力士の強さの秘訣、どうやったら勝てるのかについて興味を持っている子が多く、実際に力士に聞いたり、ちゃんこ鍋を作ったりすることで興味を膨らませていた。

テーマ名：お相撲さんみたいに強くなろう！

園名：すみだがわのほとりに笑顔咲く保育園

子どもたちの興味

③たくさん食べるといいんだって。ちゃんこ鍋って何？
・身近な人（調理の先生や八百屋の人）に質問をして、ちゃんこ鍋にどのような具材が入っているのか調べ始める。
・事前に子どもたちと一緒に鍋の具材を考えてから近所の八百屋に出掛けた。実際に野菜を見させてもらうと、「このやさい（ぶろっこりー）もいれたい」「あかいたまねぎもあるよ」と話し、ちゃんこ鍋に入れたら美味しいかどうか、期待を膨らませながら選ぶ姿が見られていた為、ペアで 1つずつの野菜を選び、追加で購入した。
・ちゃんこ鍋作りでは、自分で選んだ野菜を包丁で切ったり、千切ったりして調理をしている。紫玉ねぎを買ったチームがおり、「きれいないろのちゃんこができるかも」と期待しながら作る姿があった。

環境づくり

④ちゃんこ鍋つくり
・八百屋との連絡を事前に取り、店内をゆっくり見られるように環境を整える。
・鍋で煮込む様子を一緒に見ることで、「はやくたべたいな」「ごはんのじかんまだかな？」と、期待を持って過ごすことが出来ていた。多くの子がおかわりをして食べ、食事後には「たくさんたべたから、すもうかてるかな？」と話す姿も見られていた。

担当者の気づきポイント

・実際にちゃんこ鍋を作ることで、苦手な食材に挑戦したり、おかわりをしてたくさん食べようとしたりして、食への興味関心が高まった。

テーマ名：お相撲さんみたいに強くなろう！

園名：すみだがわのほとりに笑顔咲く保育園

子どもたちの興味

⑤ちゃんこ鍋の他にも強くなる方法はないかな？

・ちゃんこ鍋だけでなく、他になにかあるか考え始める
・「ぜったいにかちたい」「ぎゅうにゅうたくさんのむ！」等、相撲大会への意欲を話す子が多くいた。園内で試合を繰り返し楽しみ、負けると悔しさから諦めそうになる姿もあったが、友だちと応援し合う事で楽しさへと繋げていた。「もっとれんしゅうがひつようだとおもう」「ぎゅうにゅうにがてだけどのんでみる」等、勝つためにどうしたら良いかを子ども達自身で考えていた。

環境づくり

⑥相撲練習、相撲大会
・園内でも相撲を取る機会を多く設け、総当たり戦を楽しんでいく。
・相撲観戦時にもらった番付表を各家庭に配ると、「家でじっくり読んでいました」と翌日に保護者から話されることもあった。
・運動会の際の2チームに分かれ友だちが勝つと一緒に喜んだり、チームが負けると悔しがったりし、様々な気持ちを体験してきた。
・相撲大会で勝ちたい気持ちから、苦手な食材も積極的に食べる姿も多く見られていた。3色ボードを見て、“身体を作る食材”をたくさん食べようとする子もいた。

担当者の気づきポイント

・相撲大会当日の朝には、力を発揮するために出来ることを子どもたち自身で考え、「ぎゅうにゅうのむ！」「きんとれする！」と話し、今まで教わったことや考えたことを活かそうとする姿も多く見られていた。実際に戦うことで負ける悔しさを味わいながらも、一人ひとりが諦めずに戦う姿が見られていた。

テーマ名：お相撲さんみたいに強くなろう！

園名：すみだがわのほとりに笑顔咲く保育園

まとめ

・秋ごろから相撲に触れてきたが、体幹が弱い子が多く、押す力やしこを踏んだ際に踏ん張る力が弱いため、他園と戦った際になかなか勝てずにもどかしい気持ちを味わっていた。
→今回行った相撲への取り組みを年下児に伝えたり、一緒に相撲を取ったりすることで継続的に遊びを楽しみながら身体づくりを行っていけるようにしていく。

・ちゃんこ鍋を作り、実際に食べることで食への関心を高めている。国技館でちゃんこが売っているところに興味を持っている子も多くいた。
→園周辺のちゃんこ屋さんを尋ねる等活動を膨らませていきながら、次はどのような味にするか、材料はどうするか、誰かにおもてなしをするか等、子どもたちと考えて広げていきたい。